



学校教育目標 「三根中学校に誇りを持つ生徒を育てる ～自主・自律・寛容の態度形成を通して～」
生徒会スローガン「日進月歩 ～日々進化し、支えあいながら、お互いを高めていく三根中生～」

検察官がやってきた！ -佐賀地方検察庁検察官による 出前講座をしていただきました-



佐賀地方検察庁の5名の方々が講師として来校

2月16日(木)、法教育の一環として、佐賀地方検察庁の現職検察官等に来ていただき、2年生に、検察官の仕事や裁判の仕組みなどを教えていただきました。

テレビドラマなどで検察官を主人公にしたものは見ている、「検察官の仕事ってどんなもの？」と改めて問われると、きちんと答えるのは難しいものです。生徒たちも、「警察官と検察官の違いは？」などといった疑問をもって、それらにも答えていただきました。

講座では、難しい話を分かりやすくするため



に、「盗難事件の犯人逮捕、そして、警察から検察庁へ送致、検察庁での捜査」といった一連の流れを、犯人役に扮した先生と現職検察官

(上)「窃盗犯を逮捕」のお芝居
(下)検察官による事情聴取の実演



によるお芝居で見せていただきました。捜査の中では、目撃者として生徒も目撃内容を聞かれる場面もありました。

生徒の感想を見ると、いろいろな職業によりこの社会が成り立っていることを考え、将来の自分の進路を考える上でもとても有意義だったようです。

【生徒の感想から】

- 今日の講話を聞いて、将来の職業の選択肢が増えました。
- バッチを持ってみて、思ったより小さかったけれども重くて、いろいろな意味が込められているすごいバッジだなと思いました。
- 検察と警察とで、持っている権利が違うということが心に残った。また、事情聴取の演技で、もし本当に目撃者になってしまった場合はよく見ておくことが大切だなと思った。
- 今日の話のおかげで、私たちの生活を守る大切な仕事をしてくださって、大変だけどやりがいのありそうな仕事だと感じました。いつか私たちも裁判員になる可能性があるので、しっかり理解したいと思いました。
- 検察官という仕事に興味を持ちました。「正義の実現・治安の維持」をやってくれていたことが分かりました。バッチの意味を知って、法に携わる人は、どんな人にも公平で、被害者に寄り添おうとしていることを知りました。
- 悪いことは許さないという考え方や、「10人の悪人より、1人の無罪の人を大切にする」という考え方も素敵だと思いました。



NHKの取材もあり、夕方のニュースで紹介されました

大丈夫？ SNS の使い方

飲食店等において迷惑行為等の不適切な動画をスマートフォンで撮影し、インターネットの会員制交流サイト（SNS）に投稿したことから動画が拡散される事案が、全国で相次いで発生しています。

軽いノリで行った不適切な行動が、個人や企業などへ大きな損害を与えれば、場合によっては罪に問われたり、多額の損害賠償請求を受けたりする恐れもあります。投稿者が特定され、本人への非難が殺到したり、所属する学校にも抗議の電話やメールが次々と送られたりすることもあります。

被害者にも加害者にもならないために、安易な投稿はトラブルのもとになることを、一度ご家庭でもしっかりご確認をお願いします。

安易な投稿はトラブルの元
投稿する前にチェックしよう！

- ①見る人はだれ？
- ②イヤな思いをする人はいない？
- ③一度出したら消せないけど

大丈夫？

(佐賀県の啓発チラシより引用)

☆ 実際に起きている子どもたちのネットトラブル事例と一緒に考えてみてください。

インターネットトラブル事例集（総務省）

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/

国際ソロプチミスト佐賀-東部様 から三根中生徒会へ 活動助成金をいただきました

2月18日（土）、ホテルピアントスにて、国際ソロプチミスト佐賀-東部様より、三根中生徒会に対して、活動助成金の贈呈式がありました。贈呈式では、夢を切り拓く努力をしている女性や、意欲的にボランティア活動をしている団体に対して、表彰や寄付金贈呈をして、活動を応援していただきました。

いただいた活動助成金を有効に活用して、三根中生徒会の活動がより活性化するように頑張りたいと思います。ありがとうございました。

防災について家庭でも話題に —防災給食—



防災給食のメニュー

救給カレー（ご飯とカレーが入っています）
キャンパン
牛乳、みかんゼリー

2月17日（金）の給食は、防災給食でした。非常時に備え、保存できる「救給カレー」と「キャンパン」が提供されました。「救給カレー」は、非常時に火や水が使えない場合は、開封してそのまま食べることができるように作られています。しかし、今回は、寒い2月ですので、当日、事務室や給食担当の先生方が調理室で温めてくれました。

現在、トルコ・シリアで起こった大地震では、多くの犠牲者が出ています。また、助かった人たちも寒い中、衣食住の面で厳しい環境に置かれています。防災給食をいただきながら、生徒たちには、今、世界で苦しんでいる人たちのことを考えてほしいと思いました。

「日本で災害が起こらない地域はない」という専門家の言葉を聞いたことがあります。これを機会に、ご家庭でも非常時への備えについて、ぜひお子さまと話題にして一緒に考えていただければと思います。

【メモ】

食料・飲料の備蓄例

- 飲料水 3日分
(1人1日3ℓが目安)
- 非常食 3日分の食料として、ご飯（アルファ米など）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど

(首相官邸ホームページより)

